

関川知男さん 栄光の記録

1950年度(昭和25年度)全日本卓球選手権大会一般男子単 第3位入賞(23歳)

この大会の準決勝で関川さんを破り優勝した林 忠明選手は2年後の1952年、日本が戦後初めて参加した世界卓球選手権大会(インド・ボンベイ)の一般男子ダブルス(藤井則和と組む)で優勝した。

1950年の世界選手権大会に日本が出場していれば関川さんは日本代表に選ばれていたかもしれない。

関川知男さんの日本三大ベテラン卓球大会優勝記録一覧

開催年度	年齢	全国オープンベテラン卓球大会	全日本卓球選手権大会マスターズの部	東京卓球選手権大会
1990年	63歳	シックスティの部優勝(初参加)		
1994年	67歳	ハイシックスティの部優勝		
1997年	70歳	セブンティの部優勝	セブンティの部優勝	
1998年	71歳	セブンティの部優勝	セブンティの部優勝	セブンティの部優勝
1999年	72歳			セブンティの部優勝
2000年	73歳	セブンティの部優勝	セブンティの部優勝	
2001年	74歳	セブンティの部優勝	セブンティの部優勝	セブンティの部優勝
2002年	75歳	ハイセブンティの部優勝		
2003年	76歳	ハイセブンティの部優勝	ハイセブンティの部優勝	セブンティの部優勝
2006年	79歳		エイティの部優勝	
2007年	80歳		エイティの部優勝	
2008年	81歳	エイティの部優勝	エイティの部優勝	エイティの部優勝
2009年	82歳	エイティの部優勝		エイティの部優勝
合計優勝回数		10回	8回	6回

ベテラン卓球の年齢区分はサーティ~フィフティは10歳刻み、シックスティ~ハイエイティは5歳刻みです。

シックスティ 60歳代 ハイシックスティ 65歳代 セブンティ 70歳代 ハイセブンティ 75歳代 エイティ 80歳代

日本三大ベテラン卓球大会で延べ24回の優勝実績を残した
選手は日本の男子で関川知男さんが最初であろう。

裏表紙原稿

3面の松浦市長から表彰状を授与された写真

表彰状

説代